

東京女子体育大学 体育学部 体育学科 ディプロマポリシー・ルーブリック

ディプロマポリシー		レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	観点	
〔人間形成・知識・技能・理解力・指導力〕	DP1	豊かな社会性と人間性を支える広い教養を身につけている。	・多様な知識から高い教養を身につけ、それらを基にした他者理解や共感性によって、社会の一員としての責任感や連帯感を持っている (赤4)	・多様な知識から教養を身につけ、それらを基にした他者理解や共感性によって、社会の一員としての責任感や連帯感を持っている (赤3)	・知識と教養を身につけ、他者への共感性によって、社会の一員としての責任感や連帯感を持っている (赤2)	・知識と教養を身につけ、他者への共感性によって、社会に順応することができる。 (赤1)	DP1において、〔人間形成・知識・技能・理解力・指導力〕では特に「人間形成」と「知識」を重視する。さらにそれらの中でも「人間形成」を中心とした評価を行う。したがってこのDP1では、「他者に対する在り方（他者理解と共感性）」、「社会人としての自覚（世界における自分の立ち位置の理解）」という観点を軸とする。
	DP2	体育学の内容を理解し実践できる能力を有している。	・体育学における専門的な知識と技能を高度に理解し、それをもって体育とスポーツの諸問題の解決に向けて、活用することができる (赤4)	・体育学における専門的な知識と技能を十分に理解し、それをもって体育とスポーツの諸問題に、活用することができる (赤3)	・体育学における一般的な知識と技能を理解し、それをもって体育とスポーツの諸問題に活用することができる (赤2)	・体育学における一般的な知識と技能を理解している (赤1)	DP2において、〔人間形成・知識・技能・理解力・指導力〕では特に「知識」と「技能」、「理解力」を重視する。さらにそれらの中でも「理解力」を中心とした評価を行う。したがって、「専門性（体育学の深い理解）」、「理解の活用（体育学的な知識と技術による問題解決）」という観点を軸とする。
	DP3	専門分野にとどまらず、様々な領域に柔軟に対応し、指導できる力を有している。	・体育学に対する理解を活用することで、様々な領域へ柔軟に対応し、問題解決へと導く指導力を十分に持っている (赤4)	・体育学に対する理解を活用することで、様々な領域へ柔軟に対応する指導力を十分に持っている (赤3)	・体育学に対する理解を活用することで、様々な領域へ対応する指導力を持っている (赤2)	・体育学の理解に基づいた指導力を持っている (赤1)	DP3において、〔人間形成・知識・技能・理解力・指導力〕では特に「理解力」と「指導力」を重視する。さらにそれらの中でも「指導力」を中心とした評価を行う。したがって、「応用性と柔軟性（他領域を跨ぐ本質の理解）」、「問題解決のためのリーダーシップ（体育学の指導方法の援用）」という観点を軸とする。
〔実力的に必要表現力〕	DP4	自ら設定した課題について、専門領域から分析・考察することができる。	・自らの課題を分析、考察するために、体育学的な知識と技能を高度に使い、それに基づく論理的な思考と判断をして、課題解決に向けて実践的に遂行することができる (赤4)	・自らの課題を分析、考察するために、体育学的な知識と技能を使い、それに基づく論理的な思考と判断をして、実践的に遂行することができる (赤3)	・自らの課題を分析、考察するために、体育学的な知識と技能を使い、それに基づく論理的な思考と判断ができる (赤2)	・自らの課題を分析、考察するために、体育学的に思考することができる (赤1)	DP4において、〔実践的に必要な思考力・判断力・表現力〕では特に「思考力」と「判断力」を重視する。さらにそれらの中でも「思考力」を中心とした評価を行う。したがって、「専門的な思考（知識と技能の構造的な連関）」、「論理性を持った現実的な判断（実践における決断）※思考においても行為においても」という観点を軸とする。
	DP5	多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができる。	・多様性を受容し、自分とは異なる意見への配慮の上で、他者を納得させ得る論理的な説明力と表現力（プレゼンテーション力）を身につけ、それをレポートや論文、作品、発表等に的確に反映することができる (赤4)	・多様性を受容し、他者を納得させ得る論理的な説明力と表現力（プレゼンテーション力）を身につけ、それをレポートや論文、作品、発表等に反映することができる (赤3)	・多様性を受容し、他者を納得させ得る論理的な説明力と表現力（プレゼンテーション力）を身につけ、レポートや論文、作品、発表等を作成することができる (赤2)	・多様性を受容し、他者を納得させ得る表現力（プレゼンテーション力）を身につけ、レポートや論文、作品、発表等を作成することができる (赤1)	DP5において、〔実践的に必要な思考力・判断力・表現力〕では特に「思考力」と「表現力」を重視する。さらにそれらの中でも「表現力」を中心とした評価を行う。したがって、「諸前提の確認（論理的な展開の準備）」、「他者を意識した表現（コミュニケーション力とプレゼンテーション力）」という観点を軸とする。
〔社会との関わり・関心・意欲〕	DP6	社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決することができる。	・社会の変化に素早く順応し、それに伴って生じる諸問題を解決するための情報や手段を探究する態度を持ち、リーダーとして、積極的に関与していく姿勢を身につけている (赤4)	・社会の変化に順応し、それに伴って生じる諸問題を解決するための情報や手段を探究する態度を持ち、積極的に関与していく姿勢を身につけている (赤3)	・社会の変化に伴って生じる諸問題を解決するための情報や手段を探究する態度を持ち、積極的に関与していく姿勢を身につけている (赤2)	・社会の変化に伴って生じる諸問題を解決するための情報や手段を探究する態度を持ち、関与していく姿勢を身につけている (赤1)	DP6において、〔社会との関わり・関心・意欲〕では特に「社会との関わり」と「関心」を重視する。さらにそれらの中でも「関心」を中心とした評価を行う。したがって、「社会への志向（興味関心）」、「社会における主体性（情報収集力とその実行）」という観点を軸とする。
	DP7	体育・スポーツの知を生かし、社会の発展に貢献できる。	・体育とスポーツに関する知を社会に還元して積極的に貢献しようとする意志を持ち、自己と他者の心身の健康維持を目指し、スポーツ振興の主導的な実践をすることができる (赤4)	・体育とスポーツに関する知を社会に還元して積極的に貢献しようとする意志を持ち、スポーツ振興の主導的な実践をすることができる (赤3)	・体育とスポーツに関する知を社会に還元して積極的に貢献しようとする意志を持っている (赤2)	・体育とスポーツを通じて社会に貢献しようとする意志を持っている (赤1)	DP7において、〔社会との関わり・関心・意欲〕では特に「社会との関わり」と「意欲」を重視する。さらにそれらの中でも「意欲」を中心とした評価を行う。したがって、「社会貢献（学びの還元）」、「学びの実践（体育学的な知の活用）」という観点を軸とする。

※括弧内の数字は評価ポイントの数